

データ・セキュリティーの状況

データは、競争上の優位性を創出し、ビジネスの成長を推進する動力源となります。

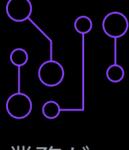
組織のデータが増加するなかでも成功を持続させるには、プロアクティブなアプローチでこの貴重なリソースを守ることが重要です。

11.7B
のレコード

11TB
のデータ

が、2016年から2019年の間に、調査対象企業で流出または盗難に遭っています¹

重要なデータが盗まれたり破壊されたりしたら、どのようなことが起こり得るでしょうか



業務が妨げられる



ブランド評価が傷つく



株主価値が低下する

情報漏えいは多額の損害をもたらす恐れがあります

\$150

調査対象企業において紛失または盗難に遭ったレコード1件当たりの平均コスト²

\$3.92M

調査対象企業における情報漏えい1事案当たりの平均コスト²

\$388M

調査対象企業における大規模な情報漏えい(100万～5,000万件のデータ・レコード紛失)のコスト²

データ・セキュリティーの状況は、一段と複雑化しています

49%

2025年までに、世界のデータの49%がパブリッククラウド環境に存在するようになります³

30%

2025年までに、全生成データの30%がリアルタイムで生成されるようになります³

組織のデータ保護には強力なセキュリティー戦略が必要です どこから始めるべきでしょうか？

考慮するポイント:

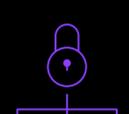
- 自社のビジネスに不可欠なデータは何か、またそれはどのような目的で使用されるか
- それはどこに存在しているか
- 主要なステークホルダーは誰か
- どうすればデータ・セキュリティーのリスクを軽減できるか
- 自社の暗号化はどれだけ適応性があるか

セキュリティー意識の向上:

- 自社のデータを知る
- 自社の暗号化を知る
- 自社のアプリケーションを知る
- 自社の保護を知る

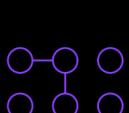
そして適切なパートナーが必要です

IBM Critical Data Protection Program では以下の5つを実行して、複雑なデータ・セキュリティーの課題に取り組みます



把握

お客様の重要な資産とデータ保護の目的を把握します



分類

重要な機密データ、データ・ストレージ・リポジトリ、経路、アクセス権を特定します



ベースライン

重要なデータに対するベースラインのセキュリティー要件を確立します



保護

お客様のデータ・セキュリティー環境のギャップに対処するために、リスク修復を実施します



監視

ガバナンス・フレームワーク、測定基準、および監視プロセスを策定します

IBM Critical Data Protection Program はお客様の重要なデータ・セキュリティーのお取り組みを包括的なアプローチで支援します

さらに詳しく見る

IBM Security
<https://www.ibm.com/jp-ja/security>
メールでのお問い合わせはこちらから
ibm.biz/Security-Mail-Form

1. IBM X-Force 脅威インテリジェンス・インデックス 2019
2. Ponemon Institute が調査を実施し、IBM Security がスポンサーとなって結果を分析および報告
3. <https://www.seagate.com/files/www-content/our-story/trends/files/idc-seagate-dataage-whitepaper.pdf>